



シルバーだより

No. 402
令和6年10月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 箭内忠義
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 素敵な後ろ姿を —

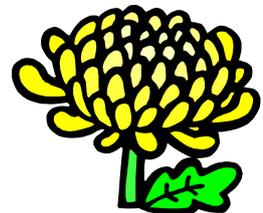
金曜書道教室講師 吉見 松香

荒川シルバー大学にお世話になって3年目を迎えています。この間に感じていることは、皆さん、ご高齢とは思えないほど意欲的で主体的で向上心に燃えて生き生きとしていらっしゃる事です。

その理由は、大学が自主・自立を掲げ、学生自身が主体的に活動できる土壌が培われているからだと思います。だから、皆さん「大変お若い」です。これは、金曜書道教室の学生さんに限ったことではありません。学芸会や学園祭で見せていただいた活動の様子からも容易に想像できます。

皆さんの姿を見ているとサミュエル・ウルマンの「青春の詩」(新井満氏訳・一部抜粋)と重なります。

青春とは人生のある期間だけでなく、心の持ち方をいう
たくましい意志 ゆたかな想像力 燃える情熱をさす
年を重ねるだけで人は老いない
理想を失うとき はじめて老いる
人から神から美 希望 よろこび 勇気 力の
靈感を受ける限り君は若い
頭を高く上げ 希望の波をとらえる限り
八十歳であろうと人は青春の中にいる



このように言っても人は生まれた瞬間から死に向かって歩んでいるのも事実です。死がいつ訪れるかは誰にも分かりません。1日24時間をどの様に使うかは、私たちの自由意思にまかされています。残された時間の一日一日を前向きに生きていくことが、サミュエル・ウルマンが提唱している生き方だと思いますので日々の生き方が大切になります。

このためには、目標を設定すること。目標が決まれば方策を講じ、実践していきます。そして、評価が目標に達していなかったとしても、ここで決して諦めないことです。これは、今回のオリンピックで選手の人たちが一様に言っていた言葉です。経験者の言葉には重みがあり、説得力があります。

高齢者となっている私たちの目標は大きな目標でなくてよいと思います。達成可能な目標(例えば、シルバー大学の日は休まずに行く)をお勧めします。どんな小さな目標でもそこには実践～評価の過程があり、その小さな積み重ねが「継続は力」となり、自分の人生をより豊かなものにしていくのですから。この後ろ姿を子供達は見ています。そして、それは孫へと。

《《 6月21日 令和6年度 第二回合同講義 》》

1. 映画上映「医師中村哲の仕事・働くということ」
 2. 講演 講師 永戸 祐三先生
ワーカーズコープ・センター事業団 名誉理事
日本社会連帯機構 代表理事
-

講演当日のアンケート(回答 91 名)より

○本を楽しむ教室で中村哲さんの本は2冊読みました。日本人として誇りに思います。中野での映画も見ましたが、改めて放映を見て感銘を受けました。頭が下がる思いです。人間として生きた人だと思いました。

○用水路を作るということは中村哲さんの周りの人たちにとっては夢の夢、不可能と思った人たちも多かったのでは。しかし熱意・信念でやり遂げる…とても感動です。多くの人に参加して本当に大変なことをやり遂げた！素晴らしい感動です。中村哲さんのような人を同じ日本人としてとても誇りに思いますし、尊敬いたします。それだけに凶弾に倒れたことは残念でならない。彼はどうしてそこまで努力できたのか？

○人の為働くことはここまですることなのだよくわかった。国会議員が中村医師のような気持で国政を行ってほしいと思った。少しでも私も働きたいと思った。孫にも見せたい。

○素晴らしい人が居られたことに感銘しました。シルバー大学でこのような機会をもうけて下さりありがとうございます。

○中村さんの一言一言に心動かされました。自分ができるかは別かな？意気だけは参考にしたいです。

○人間はどう生きたらいいのだろうか？
立ち位置による考え方の相違は？根幹は？

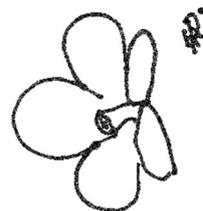
○わかりやすい講演でした。中村氏の魂が消えないよう、こういう活動を是非続けて下さい、とても楽しい講演でした。「あ、そうか！」と何度も思いました。

○以前から中村先生について関心があり、この機会に映画を観られて幸せです。世界中で早く戦争が無くなるよう願っています。先生のお話を聞き、私たち老人でもまず近くの人達と何かやってみたいと思いました。

○永戸祐三さんの話、すごく新鮮で、日本を変えていく活力。

○今の自分の生活がどんなに恵まれているものか痛感しました。

○永戸先生のお話を聞き、自分にできることの努力を惜しまないような人になるよう頑張りたいです。「希望の一滴」の本を一人でも多くの人に読んで欲しいです。



カット 松田和子

《《 シルバーだより400号達成 おめでとうございます。 》》

荒川シルバー大学創立40周年、そしてシルバーだより7月号は400号、皆さんの努力で継続されましたことを、感謝しお喜び申し上げます。

私は広報委員として平成24年2月から平成29年4月までの5年間、シルバーだよりの編集のお手伝いをさせていただきました。先輩の佐藤恒子さんや宮澤健一さんの真摯に向き合う様子を尊敬し、ご指導いただいたことを懐かしく思い出します。

平成23年3月11日は東日本大震災・福島原発の複合災害が発生、荒川区にも多くの方が避難されました。皆さんの体験談を何度かお聞きしまとめ、また、原稿もお願いし、シルバーだよりに協力していただきました。「ふるさとに帰りたいけど帰れない」との悲痛な思いには慰めの言葉もありませんでした。



また、その当時90歳以上の方が22名在籍しており、10数名の方に当時の心境などを伺い、それを「私は90歳を超えました」のタイトルでシルバーだよりに掲載しました。その中のおひとりの言葉が特に印象に残っています。「高齢になって大学生になったことがすごく嬉しい。」戦争を経験し、生きることに精一杯だったのでしょう。今が幸せとおっしゃっていました。

そして、故秋山照子先生(第二代理事長)の発案で完成しました戦争体験文集の中から、皆さんの記録を8月号に載せて読んでいただきました。戦争を知らない人が多くなりました。良い企画だったのではないのでしょうか。

秋山先生がお亡くなりになり「秋山照子先生追悼文集」(平成25年3月31日発行)と「創立30周年記念誌」(平成25年9月30日発行)に携われましたことも光栄なことでした。

シルバー大学がシルバー世代の拠り所として、学びの場、交流の場として長く続きますようにお祈り申し上げますとともに、シルバーだよりが学生生活を支えてくださることを期待しています。最後になりましたが、広報委員としてともに活動しました高山順子さん、お世話になりました。

(2024・7・31 硬筆教室 井口 和子)

《《 2年目のパソコン教室 》》

5月14日、パソコン教室2年目の学習が始まりました。今年も積極的に学びます。

振り返れば1年目は、初めての教室でしたので、解らないことが多く苦労しました。でも望月先生の解りやすく、細かい指導のおかげでインターネットの接続の仕方やメールの送受信、Word、写真等の挿入、パワーポイント等を習得しました。



今年は学園祭に出品するアニメーションの作品作りを中心に学習を進めていくそうです。教室の皆さんと一緒に先生の指導の下、良い作品を作りたいと思います。パソコン教室は楽しく学べる場所で、入学して良かったと思っています。

(パソコン教室 岩崎 廣一)

お知らせ

第二回合同講義で集まった募金は、全額「ペシャワール会」に寄付致しました。ご協力ありがとうございました。



俳句教室

～夏から秋にかけての句～

窓枠にすっぽりはまる満月や	和夫
太陽に蛇口全開水を撒く	謡
退院後の旅の計画秋暑し	智
英霊を抱きて千尋夏の海	かづ
待ちわびし夜明けの窓辺風さやか	よし
人生にアンコールなし日日草	みつえ
秋風や猫通せんぼ勝手口	とう子
ひぐらしの声に包まれ時止まる	花野
一人居の家に馴染みの秋が居り	文
僧一人守る重文の古寺に蜘蛛	京

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (9 月) ◆◆◆◆◆

- | | | | |
|------|---------------------------|------|----------------------------|
| 1 日 | 7 年度合同講義会場抽選 (施設) | 27 日 | 第三回合同講義 |
| 2 日 | 学園祭打合せ (文化センター) | | 「歌曲入門・西洋音楽との
出会い」 河野克典 |
| 4 日 | 常任理事会・役員会 (アクト 21) | | |
| 5 日 | 第三回合同講義打合せ
(サンパール荒川にて) | 30 日 | 荒川区共催申請書提出
(令和 6 年度学園祭) |
| 17 日 | 広報委員会 | 30 日 | シルバーだより 402 号作成 |

※事務局だより※

1. 10 月の変更教室について

- ・英 語 (金) : 11 日 (センター大) 午前・18 日 (ふらっとにっぽり) 午前
- ・書道金曜 (金) : 4 日 = 午前 (大)・11 日 (大) 午後・25 日 (3+4) 午後

2. 生涯学習センター工事状況について

シルバー大学事務所の工事は 10 月中旬で完了予定です。

大会議室は、10 月より使用可能となります。

トイレ (シルバー事務所側) は、10 月初旬より使用可能となります。(第一会議室側) は 10 月以降工事に入ります。

校舎全体の工事完了は 2 月末の予定です。

3. 公開教室のお知らせ

11 月は各教室の授業をどなたでも見学できます。来年度の申込の参考になさってください。(今年度は会場が工事のため、変更している場合があります。事務所に電話でお問い合わせください。)

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長 : 田原

